



令和7年度
東能勢小中学校
確かな学び通信
5月28日
担当:松岡



もったいない!!

今年度初めての定期テストが昨日終わりました。ホッとしていたのも束の間、今日、テストが返却された教科もあったと思います。「努力の成果が出た。」「もう少し頑張ればよかった。」など、いろいろと振り返ることがあったと思います。

しかし、そこまでのふりかえりで終わるのは、もったいないです。

ふりかえりを行うときに、利用してほしいのが「学習計画表」です。テスト週間中に自分自身が、どの教科にどれだけ時間をかけたかがよくわかります。「全体的に勉強時間が足りなかった」や「この教科に時間をかけすぎた」、詳しく書いている人は、「覚えることに時間をとりすぎた」や「集中できる時間帯は朝だ」など、さまざまなことがわかってきます。



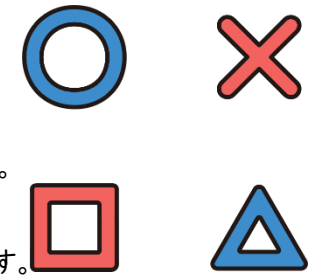
科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国語												
算数												
理科												
社会												
英語												
音楽												
体育												
美術												
家庭科												
その他												

自分にあった勉強の仕方を見つけるヒントになるので、ぜひやってみてください。そしてさらに、返却された答案をしっかりと見直し、自分の弱点や課題を分析することで、今回のテストを今後に生かす絶好のチャンスにすることができます。

「定期テストが終わったから、もういいやん!」ではなく、次の定期テストのために、将来の自分のために、この絶好のチャンスを利用しましょう。

「でも、どうしたらよいか?」と悩んでいる人もいます。そこで、テスト後に行ったらよいこと・アドバイスを載せました。参考にして、ぜひやってみてください。

①間違えた問題は、どんな問題だったかを把握する。
解答用紙と問題用紙を用意し、間違えた問題を見直し、「ケアレスミス」「わからなかった」



「覚えていなかった」等のまちがった原因を確認します。その際に、自分なりに印をつけたり、色分けをしたりしておくと、間違えた原因の傾向が分かりやすくなります。

②それぞれの原因の対処

いろいろと対処の仕方はあると思いますが、共感できた方法を紹介します。

・ケアレスミスへの対処

「見間違えた。」や「勘違いしていた。」など、簡単に片づけず、どんなケアレスミスだったかをきちんと分析しましょう。よくあるものは、文章中の「に」「を」「は」を違うものと思い違いをしていたり、自分の書いた数字を読み間違え、計算ミスをしたりするなどがあります。原因がわかると、文章をきちんと読むことや、字や数字を丁寧に書くことができます。

・わからなかった問題への対処

テスト問題をもう一度解きなおし、同じような問題を数多く行いましょう。その際に、必ず解説を読みましょう。同じような問題がもっと欲しいときや解説がよくわからない場合は、気軽に先生に尋ねましょう。

・覚えていなかった問題への対処

覚えていなかった問題は、覚えるしかありません。ノートに繰り返し書いたり、単語帳を利用したりしましょう。自分に合った方法で、地道に覚えていきましょう。

(ベネッセ 教育情報 <https://benesse.jp/kyouiku/201506/20150625-4.html> 参照)

テスト週間が終わるとクラブ等があり、テストの分析・対処が大変になってきますが、しんどいのは最初だけです。まずは、「小さなことからコツコツと!!」行動しましょう!!

約1か月後には、期末テストがありますよ。